

## 団体名

## ippo実行委員会

## 実施内容

Ippo market（5月、12月開催）  
ワークショップ（8月開催）

## 目的

ippoは幅広い年齢層が参加できる企画を通し、子どもも大人も新しいモノやコト、ヒトに興味関心をもつきっかけづくりの場をつくることを目指す。

- 幅広い年齢層が参加できる企画を通し、子育て世代と地域住民のコミュニケーションの場をつくる。子どもの体験を通し、子どもだけでなく大人も普段関わることのない人との関わりを持つことで地域のつながりが生まれる。
- 幼児期から参加できる内容にすることで、普段できない親子体験の場を設ける。
- 普段はしない経験を通し、新しいものやことに興味を持つきっかけとなる。
- 多世代・多業種が集まる企画を通し、幅広い世代とのコミュニケーションの場をつくる。

## 効果

- 5月開催では出店店舗に協力をいただき【おつかい応援企画】として、子どもだけのお買い物の対応、子ども向け商品（低価格など）を用意した。実際に体験をした方からは、「子どものいい経験になった。」「おつかい応援と分かりやすかったので安心して子どものおつかいを見守れた」との声がもらうことができた。  
12月開催では昨年へ続き【こども店長】を実施。2～9歳の総勢12名に参加があった。（1組体調不良のため欠席）参加者アンケートでは「社会とつながるいい体験ができた」「こども自身のやろう！という姿が見られて感動した」「家では見られない姿が見られて驚かされた」などの感想がありました。子ども自身の経験はもちろんだが、それを通して子どもの親御さんや周りの大人たちが新しい1面に触れるきっかけになったと感じた。  
昨年より、子育て世代以外の客層を増やすことが課題だった。ワークショップを大人も参加しやすいものにしたこと、幅広いターゲット層の出店者を募ったことで、子育て世代から年配の方の来場があった。
- ワークショップ（8月開催）  
親子参加のワークショップとして、郵便のしくみや郵便局の上側を知る。という趣旨で【かたつむり郵便のすすめ】を実施した。松本郵便局協力のもと、配達員さんのお話や裏側ツアー、はがき作りのワークショップを行った。参加者の声として「子どもたちが普段見られない場所や仕事に喜んでいました。ワークショップも大満足です。」「郵便の仕組みや部屋の中を見ることができ、とてもよい体験となりました。配達の方のお話も楽しく、いいお話しが聞けた」「とても楽しかったです。貴重な体験をありがとうございました。」との感想がもらうことができた。普段できない経験の場として参加者の皆さんに満足してもらうことができた。また、地域の企業に協力してもらうことで、より身近に興味関心をもつきっかけになったと思う。

## 今後の課題

- 昨年から引き続きの開催と、年2回の開催にしたことでイベント自体の認知度は上がったように思うが、他イベントとの兼ね合いや告知方法をもっと工夫して集客力をあげていきたい。
- こども店長に関して、会場等の都合で当初予定していた開催日より遅い開催となった。年末だったこともあり、人出自体少ない日の実施になって検討もしていきたい
- 郵便局ワークショップから、もっといろいろな仕事の裏側をみたい、大人も参加したい。という声をもらっているため、ニーズに応えた企画をしていけるようになりたい。

## 事業実施経過

| 年月      | 実施事項                     |
|---------|--------------------------|
| 令和7年4月  | Ippo market開催告知          |
| 令和7年5月  | Ippo market開催 おつかい応援企画実施 |
| 令和7年7月  | 郵便局ワークショップ告知開始           |
| 令和7年8月  | 郵便局ワークショップ開催             |
| 令和7年11月 | こども店長募集開始                |
| 令和7年12月 | Ippo market（こども店長開催）     |